

# 池ノ内湖

(いけのうちこ)



上空から見たため池



ため池と近接する体験・学習施設

高校生等による魚類相変化の調査



## ため池の概要

### ため池の所在地

佐賀県武雄市

### ため池の特徴

池ノ内湖は、武雄地域で最大の貯水量を持つため池で、一級河川六角川の沖積平野の肥沃な農地156haを潤しており、米・麦・大豆に加え、近年増えている施設園芸作物などの地域の農業に欠かせない存在となっています。

この地域では、地元農業者を中心に湖畔の各施設、地元高校、保育園、水環境団体や行政が参加して総合的水管理が行われています。

特に、武雄高校科学部による生物多様性保全を目標とした魚類相変化の調査や特定外来生物の排除活動は、全国的に高い評価を得ています。

元々、池ノ内湖は、寛永2年(1625)に武雄領内の耕地(3町1反)のかんがい用水として築造された小池であり、また武雄領主の御猟場でもありました。

その後、文化5年(1808)に周囲の新田開発に伴って堤のかさ上げが行われ、また、戦後も食糧増産や干ばつによる用水不足解消のために数度の嵩上げや改修が繰り返され、現在の姿になっています。

## 関連情報

武雄高校 <http://www3.saga-ed.jp/school/edq10016/>